

表：東京農業大学既存サービスラーニング類似プログラム概要とモデル要素分析の検討(※当初調査設計時)

教育モデル	テーマ	地域	活用資源	サービス要素(地域ニーズ)	ラーニング要素(学生ニーズ)	ブラッシュアップ及び追加検討要素	試行プログラムの方向性	備考
総合・交流 (初年次・教養教育)	上-下流交流	山梨県小菅村	源流の自然、文化、風習等	・森林再生事業 ・源流景観再生(耕作放棄地の再生・景観保全) ・山村資源を活かした産業づくり ・世田谷・農大における産品PR・販売 ・上下流域交流	・農林業体験 ・環境学習と源流体験教室(川の学校、森の学校、自然観察、源流体験教室) ・ムササビ観察会 ・ナイトウォーク ・サルベージパーティ(食文化) ・上下流域交流	1 支援者育成体制・研修プログラムの構築 (1)プログラムコーディネーター (2)学生等の支援スタッフの育成・配置、研修体制構築 1)SA(Student Assistant) 学生参加型授業支援機能 2)TA(Teaching Assistant) 教員支援機能 3)LA(Learning Assistant) 学習ファンリレーター(促進)機能	指導者人材育成プログラムの作成・実施(学内地域連携職員養成) 学生をモニターにしながら、サービスラーニングを企画・実践するプログラムコーディネーターを育成する。またプログラム支援補助に当たるSA、TA、LA向けのプログラムも作成を検討する。 (2泊3日) 1日目 夕 現場入り・ガイダンス 2日目 AM 受講学生支援実習Ⅰ PM 受講学生支援実習Ⅱ 3日目 AM 振り返りワークショップ	
	都市-農村交流	群馬県川場村	里山 農地 交流施設	・里山散策路作り(自生種・在来種を活かした手作りのインフラ整備事業) ・地権者山林所有者の期待に応える地域に根ざした管理・活動の導入や人手確保 ・都市農村交流によるツーリズム・販売促進 ・観光事業につながるレクリエーションプログラム開発研究、スポーツレクリエーション施設設計	・里山自然学校 ・やまづくり塾(体験・養成) ・森の素晴らしさを知る、学習活動拠点作り ・こどもやまづくり教室(子ども向けの体験活動提供) ・農業(りんご)を活かした学習プログラム ・環境教育支援センター連携による小学校プログラム ・スタディーツアー(野生生物観察会) ・レクリエーションプログラム開発研究、レジャーレクリエーション効用論・スポーツレクリエーション施設設計	2 他大学など多様な主体と協働連携できる仕組みの構築 3 教育目的・学習プロセス・学習効果・評価指標の構造的設定 (1)自己省察(学生による行動原理・教訓の抽出→実習ノートやセルフマネジメントなどの教材・プログラム開発) (2)学術的知識との関連づけ (3)キャリアビジョンとの関連づけ (4)新たな農的教育要素の導出と位置づけ 1)民俗・信仰(スピリチュアリティ) 2)体験・知恵(身体化された学習)など		
	高齢者-若者交流	福島県鮫川村	・地域高齢者(手豆館活動) ・里山 ・農地 ・農家敷地	・里山景観保全・創造 ・景観作物栽培 ・景観計画の策定 ・小規模農家のお手伝い ・農家の庭造り ・散策路等の整備 ・休耕地・荒廃農地の再生 ・収穫祭でのPR/販売促進 「ランドスケープマネジメントを根幹においた地域力誘引」	・炭焼き窯作り ・地域との交流 ・住民と共に村内歩きガイド ・手作り味噌講習 ・農林業体験・里山環境学習プログラム ・ホテル観賞 ・相撲大会などの地区行事への参加交流教育におけるフィールド主義・現場主義、地域に貢献したいというモチベーション高揚作用			
地域づくり (分野別・専門教育)	食文化・民俗 (発酵・漬物)	長野県木曾町	植物性乳酸菌「すんき」	・地域発酵食品・商品開発とPR/販売	・試食会を通じた日本伝統発酵食品学習 ・木曾の発行文化、見て食べ学ぶ「がっこう」の開催	1. コミュニティ視点の検討 特に地域資源保全・活用活動の継続性を担保するプログラム構築に留意 2. 教育目的・学習プロセス・学習効果・評価指標の構造的設定 (1)自己省察(学生による行動原理・教訓の抽出→実習ノートセルフマネジメントなどの教材・プログラム開発) (2)学術的知識との関連づけ (3)キャリアビジョンとの関連づけ (4)新たな農的教育要素の導出と位置づけ 1)民俗・信仰(スピリチュアリティ) 2)体験・知恵(身体化された学習)など	1日目 AM移動 PM プログラムⅠ 食材探訪(収穫手伝い等) 夕 プログラムⅡ 郷土料理教室・座学 2日目 AM プログラムⅢ レシピ開発検討 PM 帰路 後日 商店街にて試食実演販売	※実習後、都市部商店街での試食・販売の実践
	地域産業・流通・ビジネス	新潟県上越市	耕作放棄地	・中山間農地の回復 ・耕作放棄地の再開発と有機農場経営 ・地域・ブランド確立と普及 ・全国販売網開拓 ・地産地消推進	・国際協力機構等、研修の受け入れとプログラム提供 ・有機農作業体験 ・実習農場機能 ・周辺農家を巻き込んだ研修事業の実施 ・実践教育の提供		1日目 AM 移動 PM プログラムⅠ 有機農業手伝い 夕 プログラムⅡ 座学 2日目 AM プログラムⅢ 販路開拓検討 PM 帰路 後日 商店街にて販売実習	※実習後、都市部商店街での販売の実践
	環境保全(里山林・竹林)	静岡県南伊豆町等	里山林(竹林)	・竹害被害の軽減(拡大竹林・侵入竹林の抑制) ・伐採竹の有効利用 ・里山林資源の有効利用と観光化	・里山林(竹林)における自然・文化的体験 ・里山林(竹林)の特用品産物の試食・体験 ・里山林を活かした産品・観光学習		(2泊3日) 1日目 AM 移動 PM プログラムⅠ 竹林整備活動 夕 プログラムⅡ 座学 2日目 終日 プログラムⅢ 竹炭焼き他里山活動 3日目 AM 竹産品・販売検討 後日 商店街にて産品・PR	※実習後、都市部商店街での竹林産品・サービスのPRの実践